

各テーブルのディスカッションテーマ

地域とくらし部会

テーブル	視点 / 取り組みのイメージ	
A	【視点②】 仙台でともに生きる ~多様性が生きるまちの実現~	
	共生交流社会の形成	世代や性別、障害の有無、国籍を問わず、人の多様性の理解浸透に向け、東京オリンピック・パラリンピックのレガシーを受け継ぎ、各人の立場を実感できる場、スポーツや文化芸術、農業をはじめ様々なツールを生かした多世代・多様な主体間の交流環境の創出
	支え合いと社会参画の促進	世代、性別、障害の有無、国籍などを超えて、多様な主体がお互いを尊重し、心と命を守る支え合いの基盤づくりを進めるとともに、誰もが生きがいを感じながら健康的な社会生活を送り、活躍できる環境の構築
	【視点③】 仙台で暮らす ~地域コミュニティの強化~	
	基盤となる地域団体等の体制強化	町内会をはじめとする地域団体やNPO等の市民活動団体が継続して活動できる環境づくり（地域活動への住民参加の促進、町内会活動等の担い手の確保・育成、活動支援の充実など）
	地域課題解決への連携	地域交通の確保や買い物弱者対策、見守りなど多様な地域課題のテーマに即して、住民、町内会等地域団体、NPO、教育機関、企業、起業家などが連携しやすい環境づくり（課題を共有する機会づくり・解決に向けた協働・実践の場づくり、各主体間の連携強化、コーディネーターを担える人材の育成・支援、地域コミュニティのあり方検討）
快適な居住環境の確保	都心部及び郊外地域におけるそれぞれの地域特性に応じた安全安心で快適な居住環境の確保に係るアプローチの確立（空き家や空き地の管理・活用、老朽マンションの建て替え促進、地域特有の災害リスクへの対応など）	
<p>●テーブルリーダー：遠藤（智）委員 ○阿部（一）委員、阿部（重）委員、小野寺委員、折腹委員、小岩委員、傳野委員</p>		

テーブル	視点 / 取り組みのイメージ	
B	【視点④】 仙台で育つ ~子ども・子育て応援まちづくり~	
	子育て応援社会の形成	切れ目のない子育て支援施策の充実はもとより、関係機関との連携を含め、地域社会全体で見守る子ども・子育て世帯に優しい環境づくりや、全市的な子育て支援ネットワークの構築
	学び（学校教育）の充実	学校、家庭、地域、企業、行政の連携（社会全体で子どもを守り育む環境づくり、地域に対する子どもたちの愛着喚起等）、豊かな心や健やかな体、また、人としての思いやりや自分で考える力を育み、社会の著しい変化にも適応できる柔軟性を持った子どもの育成に向けた学びの質・環境の向上
	【視点⑤】 仙台で学ぶ・活かす ~学びの環境づくりとチャレンジ応援~	
	地学連携の場づくり	教育機関（学生・生徒）と地域やNPO、企業をはじめとした各主体がつながり、まちの魅力創出や地域課題解決に向けた実践を重ねることができる場の創出（ともに学びながら人材が育つ環境整備（プラットフォーム、大学間の連携等）、知的資源の創出・活用など）
	地域における学び・体験機会の創出	地域住民、学生や児童生徒が多世代交流促進、地域に関する学び、体験学習などを通じて自ら進んで地域との交流を深め、仙台の歴史文化などと触れ合うことで、地域への愛着を育む好循環の創出
多様な学びの環境の充実	歴史文化・自然科学等の生涯学習施設等を活用した学びや「楽都」としての事業展開など文化芸術により親しむ環境のほか、高齢者の学び直し、新たなスキルを身に付けるリカレント教育など、目的に応じた多様な学びの機会の創出	
<p>●テーブルリーダー：岩間委員 ○鎌田委員、今野（彩）委員、佐々木委員、佐藤委員、永井委員、中坪委員</p>		

まちと活力部会

テーブル	視点 / 取り組みのイメージ	
C	【視点①】 仙台を磨き伝える ～世界に輝く杜の都の深化と継承～	
	杜の都の 深化と継承	杜の都の資産の活用（青葉山、広瀬川等の自然・歴史資産や公園、街路樹等の都市の緑について、保全や適正な維持管理を行うとともに、市民がより身近に触れ、楽しむという視点に立った活用、建物更新時などにおける景観への配慮の強化、グリーンインフラの導入など）
	防災環境都市 の推進	仙台防災枠組2015-2030を踏まえた防災環境都市づくり、東日本大震災の経験と教訓の継承・発信、災害への対応力の強化（防災意識の高い人材の育成、先端技術の導入等）、気候変動への適応、脱炭素社会実現へ向けた施策展開（消費エネルギー削減、再生可能エネルギー導入促進等）
	【視点⑦】 躍動する仙台を創る ～都心再構築と交流都市づくり～	
	投資促進	民間投資の呼び込み（仙台駅周辺をはじめ、高度な都市機能を有し賑わい創出に資するビルの建設誘導、老朽化した建物の改修・更新の促進など）
	賑わい創出	定禅寺通の活性化や本庁舎建て替え等を契機とした都心部全体における面的な賑わいの創出（歩いて楽しめる環境づくり（回遊性向上・都心交通のあり方検討、公共空間の有効活用など）、通りごとの魅力づくり、中心部商店街の活性化など）
	交流人口拡大	東北の玄関口としての拠点性の向上、交流人口ビジネスの活性化（歴史文化資産や体験プログラムなど観光コンテンツの充実、多様な事業者の参画や育成、来仙者の受入環境整備、東北の魅力発信強化など）
●テーブルリーダー：榊原委員 ○飯島委員、姥浦委員、柿沼委員、菊地委員、庄子委員、舟引委員、渡邊委員		

テーブル	視点 / 取り組みのイメージ	
D	【視点②】 仙台でともに生きる ～多様性が生きるまちの実現～	
	共生交流社会 の形成	世代や性別、障害の有無、国籍を問わず、人の多様性の理解浸透に向け、東京オリンピック・パラリンピックのレガシーを受け継ぎ、各人の立場を実感できる場、スポーツや文化芸術、農業をはじめ様々なツールを生かした多世代・多様な主体間の交流環境の創出
	支え合いと 社会参画の促進	世代、性別、障害の有無、国籍などを超えて、多様な主体がお互いを尊重し、心と命を守る支え合いの基盤づくりを進めるとともに、誰もが生きがいを感じながら健康的な社会生活を送り、活躍できる環境の構築
	【視点⑥】 仙台で働く ～働く場所として選ばれる環境づくり～	
	地元企業等支援	地元企業等の成長や新たなチャレンジを応援し、魅力の向上を図るとともに、雇用確保に向けた発信力の強化を後押しする取り組み（地域経済への高い波及効果が期待される企業の成長支援、域内の経済循環促進、農業の高付加価値化、海外等への市場開拓、若者の地元定着策など）
	イノベーション による成長促進	ICTによる地域産業の高度化や次世代放射光施設の立地を生かした研究開発拠点の集積促進、起業・創業などのチャレンジがしやすい環境づくり（経済成長と社会課題解決の両立を目指した地域経済システムの構築、起業・創業後のフォローアップなど）
	多様な働き方 の実現	働く場所、時間などライフステージに応じた柔軟な就労が実現され、リカレント教育など個々のスキルアップに取り組みやすい多様な人材が活躍できる環境づくり（企業の組織変革力の強化）
●テーブルリーダー：浜委員 ○遠藤（耕）委員、今委員、今野（薫）委員、竹川委員、舘田委員、やしる委員		